

報提供、町と連携したイベントなどをを行います。首都圏にお住まいで東川町に興味をお持ちの方に、ぜひオススメください。

**出展自治体** 東川町、福島県伊達市、山梨県都留市、鳥取県湯梨浜町、鳥取県南部町

**開館時間** (月)～(金)午前10時～午後6時(来所の場合は要事前予約)

**場所** 東京都港区芝5-26-24 ビジネスエアポート田町2階 Room29 (最寄:JR田町駅)

**問合せ** 生涯活躍ポータルカナル 03-45697-6687  
https://kamin-renkei.jp/colorful/

**6月1日は電波の日**

6月1日の「電波の日」から10日までを「電波利用環境保護周知啓発強化期間」として啓発活動を行います。電波に関する困りごとや相談をお寄せください。

▼**不法無線局から暮らしを守る**

不法電波は携帯電話やテレビ、ラジオに障害を与えるだけでなく、警察、消防、救急、防災、交通など、人命に関わる重要な無線通信を妨害し、私たちの生活を脅かします。北海道総合通信局は電波の使用方を監視し、適正な電波環境の維持に努めています。

▼**あなたの無線機器は大丈夫?**

外国規格の無線機には、重要な通信を妨害する恐れがあるため国内では使用できないものがあります。購入の際には「技術マーク」がついているか確認しましょう。

**自動車事故の被害者救済制度**  
(独)自動車事故対策機構 (NASVA: ナスバ)には、自動車事故の被害者世帯のみなさんを支援する制度があります。詳しくはお問い合わせください。

▼**重度後遺障がい者への介護料支給**

▼**交通遺児友の会** ▼**短期入院・短期入所費用助成** ▼**療護施設の設置・運営** ▼**交通遺児等へ無利子貸付** ▼**介護者(親)なき後に備えるための情報提供**

**問合せ** ナスバ旭川支所(040-0011)、ナスバ交通事故被害者ホットライン(0570-000738、平日のみ)

**北海道の苦情審査委員制度**

北海道が行った業務や制度の内容を審査する制度があります。皆さんの利害に関する苦情であれば申し立てできます。苦情審査委員が中立的な立場から調査を行い、不備や問題がある時は道の機関に是正や改善を求めます。

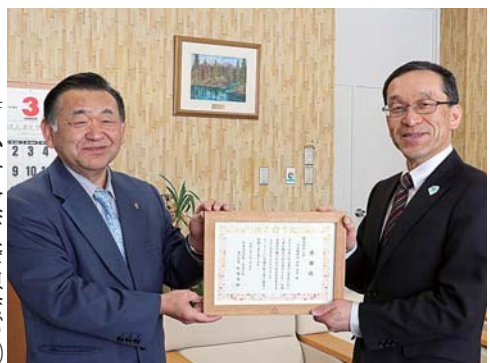
**申立方法** 提出先にあるリーフレット、もしくは道印から申立書

**商工会女性部から「新一年生」に寄付**

3月30日、東川町商工会女性部(石上久美子部長)より、小学新1年生の入学のお祝いとして町教育委員会に寄付をいただきました。各小学校で新1年生の教材購入などに活用させていただきます。ありがとうございました。

**上森繁さんより多額の寄付**

4月6日、上森繁さん(旭川市第一ガス(株)会長)より、町に多額の寄付をいただきました。町では新型コロナウイルスとオリンピック後の観光サービスマネジメント回復のために、アイヌ文化を後世に伝えた故・知里幸恵の物語を映像化し、没後百年となる来年に公開する計画をしており、その制作費用に充てさせていただきます。上森さんからは以前、映画「写真甲子園 0・5秒の夏」制作の際にも多額の寄付をいただいています。重ねて大変ありがとうございました。



▲左から若松氏、杉山昌次教育長

3月24日、町教育委員会が(株)三洋(旭川市、若松宏佳代表取締役)に感謝状を贈呈しました。毎冬、東川小学校の室外機周辺の床面に発生する氷を人力で砕いて除去していただいております。毎年あらがっております。

をダウンロードし、郵送・FAX・メールのいずれかで提出  
**問合せ・提出先** ①北海道総合政策部知事室道政相談センター (T060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目、011-204-5523、FAX011-241-8181、kujyou.koeki@pref.hokkaido.jp) ②上川総合振興局総務課 (T079-8610 旭川市永山6条19丁目、046-5901、FAX46-5201)

**ニュース**

**東川町文化賞・スポーツ賞を授賞**

3月18日、町教委が改善センターにて令和2年度東川町文化賞・スポーツ賞の授賞式を行いました。町の文化進展に貢献された方やスポーツで優秀な成績を収めた方に贈られるもので、今回受賞したのは4名と1団体。受賞者と授賞理由は次の通りです。

◆**文化賞**

▼**千葉重志さん** 詩吟の師範として、また東川町文化連盟協議会として東川慰霊祭、町民総合文化祭などで活躍。  
▼**仁田原加代子さん** 日本民謡舞踊・歌謡舞踊を通して、創作・創造する楽しさや表現する喜び、心に伝わる踊りを伝道。

**1社より企業版ふるさと納税**

4月8日、町に多額の企業版ふるさと納税をいただきました。大変ありがとうございました。(株)高組(旭川市、高秀宣社長)

**JALとオフィシャルパートナー協定**

4月5日、JAL(日本航空(株)東京都)と、14社目となるオフィシャルパートナー協定を締結しました。この制度は東川町と企業がパートナーとなり、地方や日本世界の未来を育む社会価値の「共創」を目指す本町の特徴的な取り組みです。同社と町はこれまで、環境スポーツイベント・SEA TO SUMMITとの連携、JALのHPや機内誌における町のPR、子どもたちに向けた紙飛行機大会など、



▲左からJAL北海道地区支配人・山崎賢太郎氏、ふるさと応援隊・野瀬英里奈さん

▼**おはなしの会ピピ**(代表:中村舞さん) おはなしの世界のおもしろさを共感したいと、「おはなし会」や本の情報交換など長年活発に活動。

◆**スポーツ賞**

▼**富田征樹さん** 第三小卒。クロカンスキーで全国中学校大会出場、富良野高校で団体優勝・個人入賞。現在は東洋大学で、全日本選手権などに出場。  
▼**工藤凌平さん** 東川中卒。龍谷高校ラグビーフットボール部で数多くの大会に出場し活躍、チームの勝利に貢献。



▲下段左から工藤さん、仁田原さん、千葉さん、おはなしの会ピピの石黒美喜さん・北畑歩さん。上段は審査員。



▲富田さん(22日授賞)

さまざまに取り組みを行ってきました。今回の締結を機に、2地域居住やワーケーション、ひがしかわ株主制度(ふるさと納税)や特産品のPR・販路拡大など、さまざまな分野で協働していきます。

**春の交通安全祈願祭**



新入学時期を迎えた4月8日、東川町交通安全協会(米田保会長)が春の交通安全祈願祭を執り行いました。町内団体、学校長らが出席し、今年の交通安全を祈願しました。

松岡市町長は「交通事故の撲滅と新型コロナウイルスの収束に必要なのは、一人一人が気を使いながらルールを守ること。交通ルールをしっかりと守る。輪を広め、事故の無い明るい社会にしていきたい」

**青木哲也さん、社会教育功労者表彰**



▲左から河野上川教育局長、青木さん

青木哲也さん(第26)が、地域における社会教育の振興の功績を讃える「令和2年度社会教育功労者表彰(文部科学大臣表彰)」を受章しました。青木さんは、町内で早くから環境保全型農業に取り組むと同時に、羽衣太鼓やボイスカウトの指導者、東川町ラトビア交流ボランティアの役員(現在は同交流協会会長)など、地域活動を積極的に取り組んでこられました。2000(平成12)年より自らの農場の一角で始めた「田んぼの学校」は現在の体験農園へと続き、小学生が農業と食を学ぶ「食育」の場を創出。今回、これらの多岐にわたる活動が評価されました。本来であれば2月に東京都で表彰式が行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により

と決意を新たにしました。旭川東警察署の黒島検史交通第一課長は「東川町の交通死亡事故ゼロ日記録は、みなさんの意識の高さや不断の努力の結果、2500日を突破しました。この記録が1日でも長く続くよう、共に活動していきましょう」と挨拶しました。

**てっぺんくん、交通安全大使になる**

4月8日、旭川東警察署で行われた「令和3年度旭川東交通安全大使委嘱式」で、JAHひがしかわのキャラクター「てっぺんくん(写真中央)が、交通安全大使に任命されました。旭川東警察署が管轄する1市6町のマスコットが大使として啓発活動をする中で、

